

2026 年度（一社）愛媛県臨床工学技士会 第 1 回理事会 議事録

1. 開催日時：2026 年 5 月 31 日（日）16：30～18：30

2. 開催場所：あかがねミュージアム

3. 出席者

理事：青野宏樹 宇都宮卓治 岡田未奈 小野達也 川上千晶 清水俊行 永渕克弥
久枝正実 野村祐介 宮崎昌彦 山本良輔 渡部優作（五十音順）

監事：氏家昌樹

欠席者：成高慎祐

4. 議事

1) 開会の挨拶

清水会長より第 11 回愛媛県臨床工学会および定時社員総会が無事終了したことへの謝辞が述べられ、理事会開催の挨拶があった。

2) 書記の選出

清水会長より野村事務局長が書記に選出された。

3) 報告事項

(1) 各委員会、部会、事務局より報告・共有事項

清水会長より、引き続き会員目線を意識した活動を進めるよう依頼があった。また講師依頼書や趣意書等の定型書式について校閲部を中心に整備を進める方針が示された。

さらに、第 9 期に向けた新たな取り組みとして医療安全委員会（仮称）の設立構想が示され、川上理事を中心に組織化や活動内容の検討を進めることとなった。

川上理事より、組織委員会において東予ブロック代表に吉岡委員、中予ブロック代表に川上理事、南予ブロック代表に松下委員を選出したことが報告された。今後は、会員同士の顔の見える関係づくりおよび業務実態報告の回答率向上を目的として、オンラインでの顔合わせやブロックごとの活動を進める予定であることが説明された。

野村事務局長より、新入会員 12 名、所属変更 5 名について報告があり承認された。また年会費未納かつ連絡不能となっている 4 名について定款第 9 条に則り強制退会となる旨の報告があった。

(2) 中四国連絡協議会／4 月 18 日（土）の出張報告

2026 年 4 月 18 日に高知市で開催された中四国連絡協議会に清水、小野、岡田、野村、宮崎（敬称略）の 5 名が参加した旨報告があった。協議会議事録については後日共有することとなった。

(3) 第 36 回日本臨床工学会／5 月 15 日（金）～5 月 17 日（日）の出張報告

2026 年 5 月 15 日～17 日に福岡市で開催された第 36 回日本臨床工学会に清水、小野、岡田、宮崎、宇都宮（敬称略）の 5 名が参加した旨報告があった。詳細については年会誌で報告する。

(4) ハイブリッド配信機材の導入について

小野副会長より、前回理事会で承認された機材について、パソコンは購入済みであり、カメラ・マイク等も導入手続き中であることが報告された。今後は各委員会の企画において積極的な活用を進めることとした。

(5) お仕事フェスタ 2026 について

渡部理事より、来場者数は 2 日間で 7,615 名であり、昨年度を上回る参加があったことが報告された。今年度も継続して出展する方針が確認された。

(6) 四国医療技術専門学校へのノベルティ販売譲渡について

四国医療技術専門学校へのノベルティ譲渡については、学校側の事情により見送りとなった。在庫のノベルティの活用方法については継続して検討することとなった。

(7) デザイン作成ツール「Canva Pro（年額 ¥8,300）」の契約進捗について

Canva フリーアカウントは取得済。Pro アカウントを契約完了後、役員へ周知することとなった。

4) 検討審議事項

(1) 愛媛県選出の国会議員（自民党議員）への訪問・挨拶について

渡部理事より、臨床工学技士会活動の周知および情報交換を目的として、愛媛県選出の「臨床工学技士を支援する議員連盟」所属の自民党国会議員への訪問を実施する方針が承認された。アピールポイントを整理するため臨床工学技士という職業内容がわかる資料の準備や県内の会員数推移、養成校の志願者数など数字で示すことのできる資料を準備し、アポイントを取る方針となった。

- (2) 香川県・愛媛県臨床工学技士会合同 VA ハンズオンセミナー企画について
宮崎理事より、本企画については単発事業ではなく継続事業として実施するのか、その位置付けを明確にする必要があるとの意見があった。また、血液浄化委員会における既存のセミナー事業（今年度計画しているセミナー）との兼ね合いについても整理が必要であり、委員会の負担や年間事業計画全体を考慮した上で進めるべきとの意見があった。さらに、合同開催に伴う講師謝礼や交通費等について、両県の規程や運用方法に違いがあるため、現行規程との整合性を十分に確認する必要があるとの意見があった。特に、規程外の謝礼運用を認めた場合、今後他委員会事業にも影響を及ぼす可能性があるため、慎重な検討が必要であるとの見解が示された。また開催方法として、座学部分をオンラインで共同開催し、ハンズオン部分は現地開催県で実施するなど、開催方法についても提案がなされた。
これらの意見を踏まえ、合同開催について継続して協議を進めることは了承されたものの、開催形式、事業規模、収支計画、謝礼規程との整合性等について引き続き検討することとなった。
- (3) 役員活動の見える化について
宮崎理事より、役員活動を会員へ分かりやすく伝えるための仕組み作りについて説明があり、理事・監事を対象に活動報告書（別添 1）を記入し提出することが承認された。今後は年度ごとに活動内容を整理し、年會誌などで公開を検討していくこととなった。
- (4) 第 12 回愛媛県臨床工学会の学会長選出
第 12 回愛媛県臨床工学会の学会長として永瀧克弥理事が選出され、承認された。開催時期や会場等については今後協議を進めることとなった。
- (5) その他
清水会長より、定時社員総会の振り返りとして、議案書を電子化したことで印刷費や事務負担の軽減につながった一方、当日の総会では議案書をスクリーンに投影していなかったため、出席者が内容を確認しながら審議することが難しかったとの意見があった。次年度以降は会場スクリーンへの投影など、出席者が議案内容を確認しやすい環境整備を行うこととなった。
また委任状については、メールや LINE 等による提出希望の問い合わせが複数あったことが報告された。現行定款では書面による委任が求められているため今回は従来どおりの運用としたが、今後の利便性向上の観点から、電子的な委任状提出方法や定款改正の必要性も含めて検討していくこととなった。
また小野副会長より、組織委員会や役員による声掛けの成果もあり、委任状回収率（82.3%）は高水準であったことが報告された。また、10 月に実施予定の業務実態報告についても、引き続き会員への周知および回答促進に取り組む必要がある旨説明があった。

5) 次回理事会日程調整
日時：2026 年 8 月 22 日（土） 18：30～ 場所：四国がんセンター 地域医療連携研修センター会議室

6) 議事録確認

出席理事

清水俊行	小野達也	岡田未奈	野村祐介	青野宏樹	宇都宮卓治
川上千晶	永瀧克弥	久枝正実	宮崎昌彦	山本良輔	渡部優作

出席監事

氏家昌樹

7) 閉会挨拶
小野副会長より第 11 回愛媛県臨床工学会への協力に対する謝辞が述べられ、理事会閉会の挨拶があった。